



居間より左から勝手口、水廻り、玄関を見る



外観



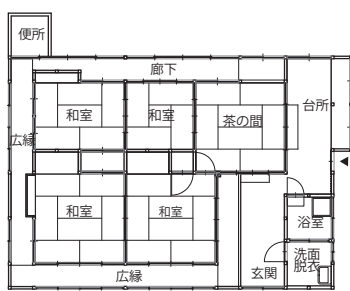
土間との段差を階段状に工夫

中山間地域の築 45 年になる農家の部分改修である。都会で生活している息子さんから、一人暮らしのお母さんを案じて「足が弱くなり手摺りや杖が必要な状況だが、本人ができるだけ長く自立した生活を送ることを希望している。」との相談だった。典型的な田の字型プランの田舎家は、台所が土間にあり、釜土・五右衛門風呂・離れにある便所等、どれもが懐かしい。通り抜けのできる土間は、かつては農作業の合間に炊事するのに便利だったが、今では床の段差が苦痛で寒さが足に凍めてくる。

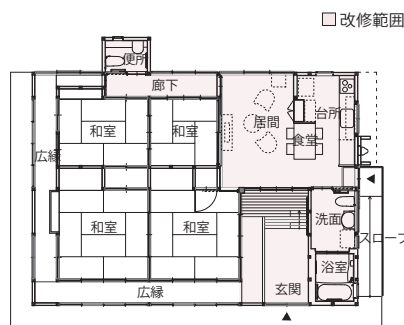
改修方針は「コンパクトな暮らし」。生活空間を集中させることで、動線が短く段差の解消も容易になる。将来は居間でのワンルーム生活を見据えた間取りを提案した。玄関の土間だけは残して縁側風に改良。ご近所の方々と茶飲み話に花が咲き、時には収穫物がそっと置いてある。ここには近所づきあいがある。

主な改修 1) 水廻り改修 (家事動線を最短に) 2) 洗面所内トイレ・離れに客用トイレを設置 3) 勝手口外部に緩やかなスロープを設置 4) 床は滑りにくいコルクタイル + 床暖房の設置 5) 手摺り + 追加設置できる下地補強 6) 断熱改修 (改修部分)

所在地	三次市三和町
主要用途	専用住宅
構造	木造
階数	平屋建
面積	延床面積 134.00㎡ 改修面積 56.00㎡



before

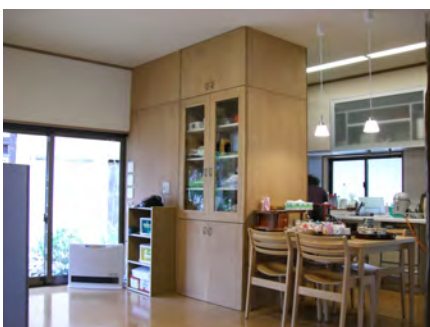


平面図

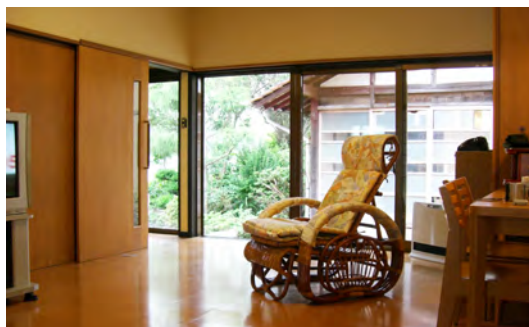
after



勝手口からスロープで屋外へ



食堂・台所



居間の窓の大きく改修



既存部分へつながる廊下